

動画撮影・編集基礎

No.	到達目標	評価基準				
		S (極めて高い水準で達成している)	A (高い水準で達成している)	B (標準的な水準で達成している)	C (最低限の水準で達成している)	D (未達成である) 1つでもあてはまれば不合格
1	映像制作に必要な基礎的な撮影技法を理解し、表現できる(C-2)	撮影技法における卓越した理解と能力を示している。構図やフレーミング、カメラワークなどが効果的且つ巧みに使用されており、映像はオリジナリティが際立っている。	撮影技法に対する深い理解があり、高度な技術が用いられている。構図やフレーミング、カメラワークなどが効果的に利用され、映像は魅力的であり、視聴者に強い印象を与える。	撮影技法の基礎的な理解がある。構図やフレーミング、カメラワークなどが適切に使用されており、表現力や物語性が十分に現れているが、改善の余地がある。	映像は、撮影の基本的な技術的要素を一部備えており、何らかの表現を伝えることができているが、目立つミスや不適切な選択がある。	撮影技法に関する基本的な理解が欠如している。映像の構図やフレーミング、カメラの動きなどに明らかな技術的欠陥があり、表現力や物語性が不足している。
2	映像表現の基礎となる編集技法を理解し、表現できる(C-2)	編集技法における卓越した理解と能力を示している。カットのつながりや編集のタイミングなどが効果的ショットの選択や編集のタイミング効果的且つ巧みに使用されており、映像はオリジナリティが際立っている。	編集技法に対する深い理解があり、高度な技術が用いられている。カットのつながりや編集のタイミングなどが効果的に利用され、映像は魅力的であり、視聴者に強い印象を与える。	編集技法の基礎的な理解がある。シカットのつながりや編集のタイミングが適切で、表現力や物語性が十分に現れているが、改善の余地がある。	映像は、編集の基本的な技術的要素を一部備えており、何らかの表現を伝えることができているが、カットのつながりや編集のタイミングなどにおいて、目立つミスや不適切な選択がある。	編集技法に関する基本的な理解が欠如している。映像は、カットの連続性(つながり)が乱れており、視聴者に明確なメッセージや情報を伝えることができず、意味が不明瞭である。
3	基礎的な撮影・編集技法を用いた動画を制作できる(C-2)	動画制作における基礎的な撮影・編集技法において卓越した理解と能力を示している。構図やカメラワーク、編集手法が非常に的確且つ効果的に用いられ、映像はオリジナリティが際立っている。	動画制作における基本的な撮影・編集技法に対する深い理解と能力を示している。構図やフレーミング、カメラワーク、編集手法が的確且つ効果的に用いられ、映像は魅力的であり、視聴者に強い印象を与える。	動画制作における基本的な撮影・編集技法を一定程度理解し、実践している。構図やカメラワーク、編集のつながりが適切であり、映像の品質が向上しているが、洗練度が不十分である。	動画制作における基本的な撮影・編集技法の一部を理解している。一般的な構図やカメラワーク、基本的な編集手法を使用しているが、表現力や物語性に改善の余地がある。	動画制作における基本的な撮影・編集技法の理解が不十分であり、映像の品質や表現が低い。構図やフレーミング、カメラワーク、編集のつながりなどに混乱が見られ、映像として未完成である。